

2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

国際ロータリー
第2790地区ガバナー 宇佐見 透

第5分区ガバナー補佐 望 月 眞

鴨川ロータリークラブ

会 長 土 田 育 子

副 会 長 倉 島 圭 子

幹 事 小 篠 隆 雄

会 報 古 市 一



No. 2474 (14) 2014年10月21日

=今週のプログラム=

10月21日 会員卓話

=次週のプログラム=

10月27日 講師卓話

例会日 火 12:00～13:30 事務所 〒296-0001 鴨川市横渚697 伊藤胃腸科クリニック内
例会場 鴨川シーワールドホテル URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

第14回 例会 報告

日時：平成26年10月14日12:30～

- | | | | |
|---------------------|------------------------------|-----------|---------|
| 1、点 鐘 | 会長 土田育子 | 4、会長挨拶 | 会長 土田育子 |
| 2、ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 | | 5、幹事報告 | 幹事 小篠隆 |
| 3、ゲスト紹介 | | 6、ガバナー卓話 | 宇佐見 透様 |
| | 国際ロータリー第2790地区ガバナー
宇佐見 透様 | 7、委員会報告 | |
| | 国際ロータリー第5分区ガバナー補佐
望 月 眞様 | 8、その他報告 | |
| | | 9、ニコニコタイム | |
| | | 10、出席報告 | |
| | | 11、点 鐘 | 会長 土田育子 |

会長挨拶

会長 土田育子



皆さんこんにちは、本日はガバナーより卓話を頂きますので私の挨拶は少し早くさせていただきます。先週8日に東京ロータリークラブに女性会員6名でメーキャップに参りました。

私自身一昨年伺った時より楽しむ事が出来ました。卓話は都職員から第2環状線についてでした。

通称マッカーサー通り、着工から68年をかけ完成目前までできました。2020年のオリパラに

はなくてはならない道路として、パリのシャンゼリゼ通りの様に13メートルの歩道にはオープンカフェが建ち並ぶオシャレな通りになるそうです。しかし、ここまでのくまでかなりのご苦労もお有りのようでした。

また、倉島会員と私のテーブルのテーブルマスターは荒井会員の小学校の同級生でいらしたり、私のお隣は渋谷で開業されるドクターで、亀田総合病院理事長のご長男が現在勤務されている病院で亀田美穂会員と面識のある方でした。

また東京ロータリークラブではこれ迄、名誉会員として緒方貞子さんがいらしゃいましたが、この秋、初めてなのでしょうか？2名の女性が入会されたそうです。

そして、お食事はコースでメインはたぶん鱈、香草ポアレでしたが、私としては前日の例会で頂きましたシーワールドのこちらも鱈と思いますが、ポアレのサフランソース、シーフードリゾット添えのほうが美味しいと感じました。

以上発見と驚きと楽しみの一日のご報告と致します。

公式訪問挨拶「原点回帰」を目指して

国際ロータリー第2790地区 2014-15年度

ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

鴨川ロータリークラブの皆様改めましてこんにちは。今年度2790地区ガバナー職を務めさせて頂いております宇佐見と申します。所属は千葉幕張ロータリークラブです。

皆様にはいつも御協力賜りありがとうございます。

本日公式訪問させて頂きましたのは、2014-15年度国際ロータリー会長ゲイリー・ホァン氏が提唱されましたテーマ「Light Up Rotary」を一刻も早く皆様にお伝えし、今年度方針にもとづきロータリーの目的を推進頂くよう結束頂きたく直接お話しさせて頂こうとの思いで公式訪問させて頂きました。

既に3月8日に開催しましたリーダーセミナー、3月29日に開催しましたPETS、そして4月29日に開催しました地区研修・協議会といういわゆる3大セミナーに土田会長、小篠幹事を初めクラブ指導者である各委員長の方々にご参加頂き、皆様を通じてご理解を頂いたうえで、スタートをさせて頂かれると思います。

ガバナーという身に余る職責ではありますが、誠心誠意努力致しますのでご支援ご協力の程お願い申し上げます。

2000年にRIより地区に対しDLP(ディストリクト・リーダーシップ・プラン)を検討する旨の要請がありました。現在RI理事会によりガバナーは地区組織を構成するうえでDLPの構成に準拠したものを確立するよう要請されています。このことは現在会員減少に悩むクラブにとって、少ない会員数の中でどの様にすれば活性化するかを検討したものであります。即ち従来の4大奉仕委員会をベースに取り組みようとすると一人で何役もこなさねばならない現実に突きあたります。そこで思い切った組織改革を考えようと取り組んだのがDLPです。

具体的に申せば、

- (1) 社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトに関しては全て「奉仕プロジェクト委員会」なる新組織で統括する。
- (2) 増強を目的とした会員増強・退会防止委員会を新たに組織し会員選考や職業分類も含めた活動を行う。
- (3) 地域の人々に私たちの活動を具体的にお知らせする広報公共イメージ委員会を新設しロータリーの友委員会や会報委員会ともコラボレートする活動を行う。
- (4) 親睦、出席、プログラムなど運営に関わる委員会は旧来のロータリー情報委員会をクラブ管理・運営委員会と変えこれら全てを統括する。

以上4つの常設委員会と呼ばれる組織に大きく変えたのがDLPです。青少年、財団、米山は旧来のま



まです。このようにする事により少ない会員のクラブでも活性化できるのではとの考えからこれがCLPに繋がればと考えたのはと思います。しかしこれを行うのはあくまでもクラブ自身です。実際の活動はクラブであり会員皆さんが主役なのです。

わたしは、先程RIがDLPを中心にした地区組織検討するよう云われておると申しましたがこのDLPの先に皆さんのCLPがあるとお考えください。ここが重要で今までCLPのみ導入しろと話されても目的が見えなければ解らなくとも当たり前です。ですから今年度はまず地区組織を変え活動内容と目的をはっきり示すことにしました。ロータリーは単年度制ですから来年また従来の地区組織に戻るかも知れません。ですが私は次年度の櫻木エレクトにこのことだけは変えないで欲しいとお願いしております。くどい様ですがガバナーとして、クラブの皆さんの理解を得ながら変革を試みようと考えています。研修リーダーにもお願いし、DLPの確立のもと各クラブでそれぞれ、独自に検討、取り組まれているCLP(クラブリーダーシッププラン)の明確化に繋がればと考えています。この後のクラブ協議会でもCLPの目的と地区におけるDLPの位置づけから何故、今必要なのかなど、ご意見を伺えればと思っております。

1905年の発足以来一世紀を越えるロータリー活動には、時代の変化と共に変わった部分もあると思いますが、変わらぬ原点は職業奉仕にあると考えます。私にとってロータリーとは、自らの職業を通しての倫理運動であり地域社会への貢献を基本に根ざすものであると考えます。定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある」と明記されております。ロータリアンを待たずに例えた場合、職業奉仕とは、

武士としての象徴を示す刀のような存在と思っています。侍は研鑽を重ね武士となり、帯刀を致しますが但しこの刀は戦（いくさ）の道具では無く、武士としての気構えの象徴です。ロータリアンの持つ刀は、自分を律する気持ち、又は誇りとして、自らの心の中に置いておくべき物でありロータリアンの心に宿る刀はロータリアン同士の厚い信頼関係に基づく不可能を可能に変える存在だと思えます。キーワードは「和して同ぜず」です。“和する”すなわち友となり仲間となることは大変素晴らしいことであり皆で一緒に取り組み大事を成す事は大切です。しかし同時に、“同ぜず”が大切で「他人の意見に惑わされる事無く、自分の意見をしっかり持たねばならない」と考えます。「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」の2つをモットーにロータリーの復活による「原点復帰」を次年度テーマに、皆様様の御協力のもと地区運営にあたってゆきたいと思えます。ロータリーは今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆくという考え方から、変わりながら続けてゆく事の大切さを、改めて考えて頂きたいと思えます。ロータリアン同士、職業奉仕を心に携えてゆけば、ロータリーは再び新たな羽根を持ち大空に飛び立てる時が来ると確信しております。



会員増強についてホァン会長は新会員を引き付けつけると共に、現会員を維持し、世界で130万人への会員拡大を目標にされています。会員増強について、会員数の数字だけにこだわり「数は力なりの原則のもと、会員を増やせ増やせとスローガンが掲げられますとすぐさま反発する形で「質」と「量」の議論が発生します。更に悪いのは、質か量かという命題を並べて、出来ない理由を議論し、やらない理屈を語る事です。増強問題は出来ない理由を語るマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切だと思っています。今年度の増強目標は地区に因んで2790名とし、各クラブに純増1名をお願いします。広報公共イメージ活動でロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリー

デー」を開催してくださることを願っています。そこで私たちは、社会貢献という共通意識のもと、互いの絆を深め、時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを広報下さい。私たちは「行動



の人」であり、同じ目的意識を持つ人たちと協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、同じ様に地域社会のことを考える人びとを見つけないと願っていることを伝えることが重要と考えます。にもかかわらず、認知度が低いと感じます。ロータリーが何を目的とし、何をしているかを知らなければ、入会しようという人や、協力しようという人がいないのも当然です。確固とした、好ましい公共イメージは、単にロータリーの気高さを高めるだけで無く、それによって奉仕志向の会員が増え、ロータリーの活動をさらにレベルアップする重要な戦略だと思います。青少年奉仕活動について地域の方々及び学校教育機関の協力、顧問教師の方々の思い、御父兄の理解が必要で、信頼関係が無ければ成立しません。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ等での四委員会が「ロータリーデー」への参加を通じ、それぞれどの様にして地域社会との融合を保つ参加が可能なのか御検討下さい。未来のロータリアンを育成しましょう。米山記念奨学会事業は日本で学ぶ外国人留学生にロータリアン自身による寄付金を財源とした奨学金を支給する事業で、日本独自の特色である「カウンセラー制度」「世話クラブ制度」が重要であると考えます。クラブとして「世話クラブの登録」「カウンセラー登録」を理解いただき、ぜひ米山記念奨学会への寄付目標である通常寄付と特別寄付の合計で一人15,000円達成をお願いします。

最後にポリオ撲滅に関して1979年に始まったポリオ撲滅運動も35年におよぶ活動で、世界で3ヶ国（パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア）を残すのみとなりました。しかし本年5月5日にWHOはカメルーン、シリアなど非常在国からの発症報告に基づき「緊急事態宣言」を出しました。医師団が内戦に巻き込まれるなど予断を許さない状況でもあり国際的連携と取組みが求められています。当地区では毎年1人あたり25ドルをお願いしております。

* 幹事報告

1. 第2790地区より、地区大会記念ゴルフ大会が台風の直撃が避けられないとの判断から6日の開催を断念しましたが、改めて12月1日に登録メンバーをそのまま移行して開催する旨、連絡が来ています。2名の欠席の連絡をいただいておりますので参加希望者は幹事まで連絡ください。
2. 第5分区ゴルフコンペ親睦会の案内が届いています。
11月24日勤労感謝の日の振り替え休日です。後日、出欠確認をFAXで流します。



* クラブ協議会



* ニコニコボックス

氏名	メッセージ	氏名	メッセージ
神定 浩明	オルカFC快進撃	三平 博美	運転技能診断御礼
佐藤 多恵子	東京ロータリー例会出席	羽鳥 鋭一	RYLAセミナー参加
倉島 圭子	東京ロータリー例会出席	滝口 健史	運転技能診断参加御礼
島田 誠一	台風被害なし	鈴木 敦	運転技能診断御礼
土田 育子	ガバナー公式訪問御礼		

* 出席報告 出席免除会員 …… 3名

例会日	会員総数	出席	M.U	出席率(%)
10月7日	34	22	6	82.35%
10月14日	34	20	8	82.85%

編集後記

例会終了後望月眞カバナー補佐によるクラブ協議会が開催されました。鴨川ロータリークラブからは、土田育子会長以下、理事会、委員会メンバーが出席、会員増強、クラブ研修、ロータリー財団、CLPの問題点等幅広く、議論され、宇佐見透カバナーからは、国際ロータリーとしての考え方、方向性等について説明がありました。